

【案件 2】

地域公共交通バスについて

1 オレンジゆずるバスの運行状況について

(1) 月曜～土曜の運行の状況（参考資料 5）

【利用状況】（1日及び1便あたりの平均利用者数）

- 本格運行〈遅延対策前〉（平成25年5月～平成26年4月）：1,346人/日 35人/便
 - 本格運行〈遅延対策後〉（平成26年5月～平成27年3月）：1,365人/日 36人/便
 - （平成27年4月～平成28年3月）：1,408人/日 37人/便
 - （平成28年4月～平成29年3月）：1,496人/日 39人/便
 - （平成29年4月～平成30年3月）：1,588人/日 42人/便
 - （平成30年4月～平成30年11月）：1,618人/日 43人/便
- 最大：1,997人/日（平成30年度実績）

【本格運行内容】

- 運行ルート：市内3ルート 青ルート（西部北・東部北循環）
赤ルート（中部・東部中循環）
黄ルート（西部南・東部南循環）
- ※市内3ルートの平均運行距離は、約27km/便
各ルート1時間に1便のパターンダイヤ

○運行日時：月曜～土曜（12月29日～1月3日は除く）、7時台～18時台

○運賃：大人 210円、小児 110円、障害者等・70歳以上の高齢者 100円

【収支率】 （年度、％）

目標値	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
50	30.0	32.6	34.7	45.8	48.0	48.9	48.6	49.0	47.8

(2) 日曜・祝日の運行の状況（参考資料 5）

【利用状況】（1日及び1便あたりの平均利用者数）

- 本格運行（平成28年7月～平成29年3月）：133人/日 11人/便
- （平成29年4月～平成30年3月）：133人/日 11人/便
- （平成30年4月～平成30年11月）：143人/日 12人/便

最大：208人/日（平成30年度実績）

【本格運行内容】

- 運行ルート：市内2ルート 紫ルート（箕面駅・桜井・平和台・如意谷循環）
緑ルート（かやの中央・小野原・粟生団地循環）
- ※市内2ルートの平均運行距離は、約13km/便

各ルート1.5～2時間に1便の運転士1人で効率的に
運行するダイヤ

○運行日時：日曜・祝日（12月29日～1月3日含む）、9時台～17時台

○運賃：大人 210円、小児 110円、障害者等・70歳以上の高齢者 100円

【収支率】 (年度、%)

目標値	H25	H26	H27	H28	H29	H30
50	19.9	21.0	25.2	30.3	30.7	32.0

2 地域公共交通網形成計画の作成について

(1) 地域公共交通網形成計画作成の目的（参考資料6）

持続可能な都市に向け箕面市では、立地適正化計画を作成（平成28年2月）し、「コンパクトなまちづくり」と「公共交通によるネットワーク」に取り組んでいる。

とりわけ、「公共交通によるネットワーク」については、北大阪急行線延伸に事業着手したことから、開業に合わせてバス路線の再編を行う必要がある。

そのため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき「地域公共交通網形成計画」を作成する。

(2) 地域公共交通網形成計画等の進め方

【平成28年度】

○各アンケートの実施・データ集計

①市民意向の把握（市民アンケート、利用者アンケートの実施）

- ・市民アンケート（平成29年2月実施、配布数5,000、回収率57.2%）
- ・利用者アンケート（平成29年2月実施、配布数11,512、回収率27.3%）

②現在の交通行動の把握

- ・パーソントリップ（PT）調査の分析（クロス集計・分析）
- ・OD（起点(origin)、終点(destination)）調査の分析（クロス集計・分析）

【平成29年度、30年度、31年度】

○地域公共交通網形成計画の作成

①現状・課題整理

②計画の目標・施策等の検討

③計画案の作成（運行ルート、運行本数の検討、路線バスとオレンジゆずるバスとの役割分担の検討、関係府県、自治体等との協議調整）

④市民・利用者の意見反映（説明会、パブリックコメントの実施）

【平成32年度】

○地域公共交通再編実施計画の作成

○許認可手続き、バス停設置等を行い、平成32年度末の鉄道開通に合わせた実証運行の開始を目指す。